

学校だより

横浜市立都岡小学校



せんだん

6月号

令和5年5月31日

一人ひとりが輝く

副校長 川村 良児

夏のような日差しを感じていた先週から一転し、各地から梅雨入りの便りが届くようになりました。

新校舎での生活がスタートし2カ月が経ちました。子ども達も職員も新しいきまりにも慣れ、明るい環境の中で教育活動を行うことができています。

さて、先日、5月27日（土）に晴天の中、運動会を開催しました。校舎建て替え工事は第1期が終了し、校庭は昨年度の倍ほどの広さになったため、今年度は演技に加え、徒競走（50m走）も行うことができました。

演技はどの学年も工夫を凝らした内容でした。1年生はキラキラのポンポンを、2年生は鳴子を、3年生は旗を手に持ちリズムに合わせ、揃えた動きや時間差の動きがとても映えていました。4年生は都岡小伝統のソーラン節を、気迫を込めて全身で表現する姿が感動的でした。そして、最後に行われた旭区の伝統である5、6年生の「飛翔」は一人ひとりの気持ちが一つ一つの動きに込められた素晴らしい演技でした。

「飛翔」は、昭和の終わり頃から平成の初めにかけて横浜市立小学校体育大会で行われていた旭区の演技です。私も区内の学校に勤務していた時に体育大会委員として演技の作成に関わったことがあります。「飛翔」は横浜市の中でも評判の高い演技でしたので、見栄えを重視した演技構成を考えていたことが懐かしく思い出されます。体育大会の会場が三ツ沢競技場から日産スタジアムへと変更される中、体育大会で「飛翔」が演技されることは無くなってしまいましたが、区内の運動会で脈々と伝統が引き継がれていることに喜びを感じています。今回の運動会の練習で5、6年生に演技のアドバイスをする機会があり、当時のことを思い出しながらより美しく見える動きのポイントを伝えることができました。微力ながら5、6年生の素晴らしい演技に力添えができたことをうれしく思っています。

今年度の運動会は、特に6年生がさまざまな係活動を通して活躍し、運営に大きく貢献してくれました。開閉会式の運営や放送での実況、徒競走の着順誘導、不織布旗の飾りつけ、応援団もオープニングを大いに盛り上げていました。運動会などの学校行事は子ども達のやる気や自信、可能性などを引き出し、より伸ばすことのできる教育活動です。各学年の子ども達一人ひとりの思いと行動があいまって素晴らしい運動会をつくり上げることができました。これからも一人ひとりが輝く都岡小学校を目指してまいります。

暑い中でしたが、子ども達を応援してくださった保護者、学校運営協議会委員の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。